

異次元の対策に期待を込めて

家族で外出した時に百円ショップに立ち寄ることがあります。たまに、この商品が百円で良いかと思うほど質の高いものがあり、百円では原価を割れているのではないのかと余計な心配をすることがあります。最近の資材や燃料の高騰で、様々な物の価格が高騰しているのではなさそう感じます。

物の価格は需要と供給で決まると教わりましたが、百円ショップの価格はどうやって決まっているのか。以前、「おいしいコーヒーの真実」というドキュメンタリー映画を観ました。

コーヒーは世界で最も日常的な飲み物であり、全世界での1日あたりの消費量は約20億杯にもなるといわれています。しかし、原産国であるエチオピアでは多くのコーヒー農家が貧困にあり、人々は教育を受けられないばかりか、食えることさえままならない状況に陥っています。彼らを救おうと奔走する人の活動を追いつきながら、1杯のコーヒーが消費者に辿り着くまでの道のりに潜む不正な貿易システムの実態を明らかにするという内容です。過酷なコーヒー豆の産地、かたや消費の現場である大手コーヒーチェーンの店舗が軽薄に描かれ、先進国による発展途上国への搾取の構図を浮き彫りにしたおもしろい映画でした。

一方で、こうした不正な貿易を是正しようとするフェアトレードという活動も一般的になっていますし、フェアトレード商品も容易に購

入できるようになっています。公正な貿易システムを通じた商品の販売を通しての途上国支援の一環です。

物の価格が高騰しても、給料は上がらないのが今の日本です。先日、テレビであるコメンテーターが「人手不足が顕著な保育士や介護者の給料が上がらないのが不思議ではないが、答えは簡単です。福祉のサービスは行政価格で、サービスのコストや原価を利用者の支払う価格に簡単に転嫁できないからです。こうした制度の良し悪しは意見が分かれるところですが、社会情勢に時間差なく対応できる仕組みであるべきでないでしょうか。今政府は「異次元の少子化対策」を公言しています。異次元に期待します。

町長コラム

Mayor Column Vol.11

筆 おもむくままに

穴水町長 吉村 光輝

